

ユニオンファンド 月次レポート

第126号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2019年5月10日作成

MONTHLY TOPIC

買い続けていただけるファンド

長い連休を使ってどこかに出かけられた方も多かったことと思います。往復の移動手段も様々だったでしょう。遠方なら飛行機か新幹線、比較的近場なら自家用車、あるいは徒歩という手もあります。急ぎの用事かゆっくりでいいか、費用はどの程度かかるか、一人か複数か、などによっても異なってきます。目的や制約によって用いる手段が決まってくるという点は、投資も全く同じです。

目的に手段が合っていることが大切

投資の目的も様々です。将来の生活を維持するため、あるいは豊かな老後を過ごせるように、という方もいますし、短期で一儲けしたいから、という方もいます。どれが正しいとか、そういう投資は間違っているということはありません。大事なのは、その人の目的にかなっているかどうかと、あとは可能かどうかです。

ユニオンファンドは、申すまでもないですが、長期の財産づくりに使っていただくために作ったファンドです。つみたて投資を通じて毎月投資を続け、時間をかけて増やしていくことをお勧めしていますし、手元にすでにある財産をさらに増やすために使っていただくことも可能です。

長期の財産づくりを考えている方に向けたファンドですから、ゆっくり時間をかけられます。株式に投資しているのも、株式の値段、つまり株価は、企業の成長とともに長期的に高まっていくと考えているからです。価格変動の大きい株式は投資初心者には難しいとよく言われますが、世界の企業への長期分散投資は、投資初心者であっても可能であり、財産づくりに有効だと認識されるようになってきました。

流出の少なさに見えるお客様の深い理解

弊社のお客様の多くが同じように考えておられることは、ファンドへのおカネの出入りからも窺えます。2008年10月にファンドがスタートしてから直近までの10年半の間に、月間で資金が流出したのは3回のみ。最後は5年4ヵ月前で、その後は流入が続いています。タイミングを見て売ったり買ったりして儲けるためのファンドではなく、ひたすらため続けるファンドだと広くかつ深く理解していただいている結果だと思っています。

このようなファンドは世の中の多数派ではありません。おカネが出たり入ったりならまだましで、スタートしてからしばらくすると流出に転じ、ファンドの規模（純資産総額）が縮小していくファンドが多いのが実情です。

「ユニオンファンドは、短期の相場変動を意識して売ったり買ったりする必要などなく、ためていけばいい」
そうしたご期待に応えられるよう、私たちは今後も頑張っています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

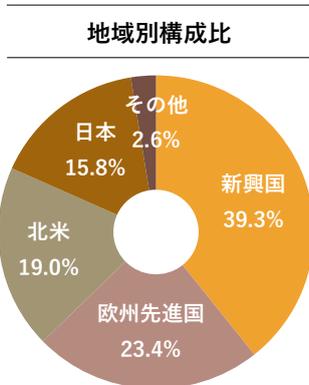
UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

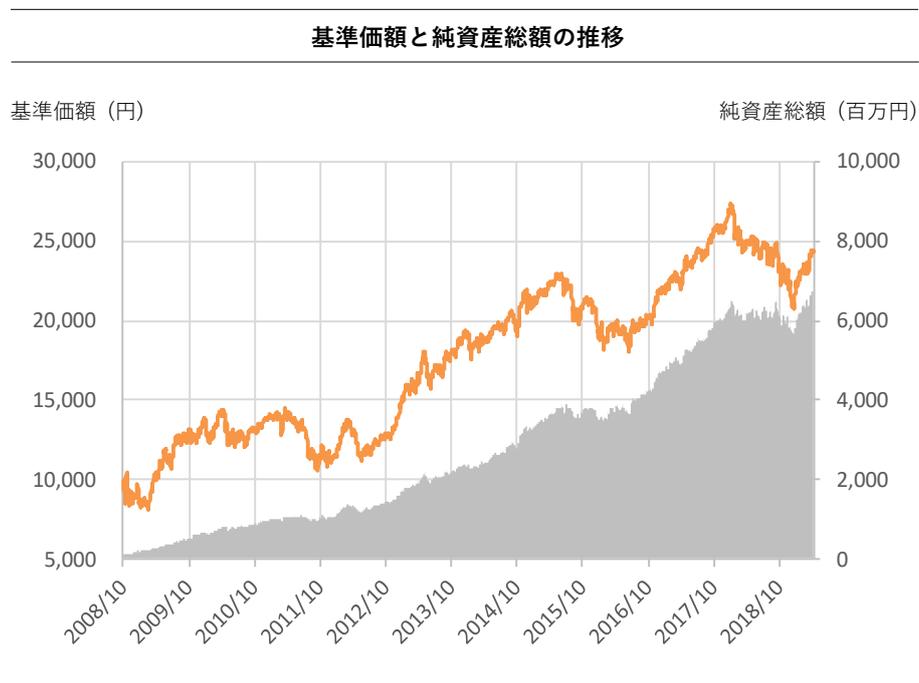
(2019年4月末現在)

基準価額	
24,300 円	
純資産総額	
67 億 29 百万円	
期間別騰落率(%)	
1 ヶ月	5.62%
1 年	-2.58%
3 年	21.79%
5 年	30.24%
10 年	141.31%
設定来	143.00%
複利年率(%)	
8.80%	

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2019年3月末現在)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	6.2%	4.5%
スパークス F	日本	6.6%	5.5%
キャピタル F	欧米	13.6%	4.3%
ハリス F	欧米	19.3%	8.7%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	5.9%	5.1%
コムジェスト・エマージング F	新興国	36.0%	7.1%
現金等	-	12.4%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

- ファンドの特長**
- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
 - ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
 - ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
 - ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
 - ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2019年4月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

世界経済は、一部に底入れ感も見られますが、全体の傾向は軟調なまま推移しました。4月に発表されたIMFの世界経済見通しでは、多くの国と地域で経済成長率の予想が下方修正されました。

ただ、株式市場は、米国の主要指数のいくつかが過去最高値を更新したのをはじめ、全般に好調でした。FRB（米国連邦準備理事会）の引き締め姿勢が緩んだことを好感する動きが続いているほか、米国企業の業績が事前予想を上回るものが多く、今後の見通しも概ね改善しているためです。

世界的な株価好調のもう一つの背景として、中国経済に回復の兆しが見えてきたことが挙げられます。金融緩和に加えて、中央政府による景気テコ入れ策が功を奏してきたと見られます。伸びが鈍っていた融資も、政府の後押しで回復してきました。中国株は1月の底入れ後、一時は上昇率が主要市場の中で最大となりました。

為替市場では、米中景気への悲観見通しが後退したことなどから、円がやや下落しドルが堅調でした。

ユニオンファンドは世界的な株価上昇と円安が追い風となり、月間で大きく上昇しました。新興国に投資するコムジェストEMF、景気に敏感な割安株が多いハリスFが市場を上回る大幅な値上がりとなりました。また、日本株は相対的に回復が鈍いままでしたが、さわかみF、スパークスFは、ともに市場の動きを上回り、堅調に値上がりしました。

運用の状況

当月も買い付けは見送りました。月末の組入比率は、組入ファンドの値上がりにより87.6%と若干上昇しました。

今後の見通しと運用方針

日本の連休最終日には、トランプ大統領が対中関税を引き上げると発言したことを受けて世界的に株価が下落しました。市場参加者は、米中貿易協議が最終合意に向けて順調に進んでいることを前提に、今年に入ってから投資姿勢を積極化してきましたが、突然はしごを外された格好です。

また、5月初めのFOMC（米国連邦公開市場委員会）では、市場で期待が広がっていた利下げがかなり明確に否定されました。年初からの上昇を支えてきた以上二つのプラス要因が方向を変えた可能性があります。

元々、投資家の間には楽観論が広がりすぎていると見ていましたので、仮に調整があっても想定内ではあります。とはいえ、相対的に好調が伝えられている米国経済も、減税効果が消えていく来年以降は成長率が落ちる可能性が大きく、中国についても、景気底入れ感からむしろ景気対策が先細りする可能性もあります。年初からの好調の反動がどの程度になるか、しばらくは市況の推移に十分注意していく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



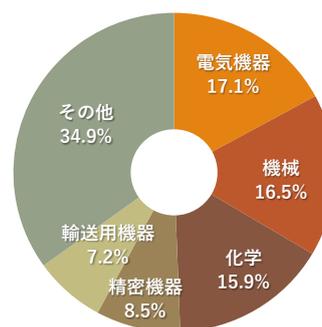
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 プリマストーン	4.3%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3 花王	4.2%	日本	化学	トイレット紙首位
4 ダイキン工業	3.8%	日本	機械	エアコン世界首位
5 浜松ホトニクス	3.3%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
6 テルモ	3.3%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
7 TOTO	3.1%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
8 信越化学工業	2.9%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
9 トヨタ自動車	2.6%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 国際石油開発帝石	2.6%	日本	鉱業	石油パイパー
上位10銘柄	35.4%		現金等	9.9%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年4月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



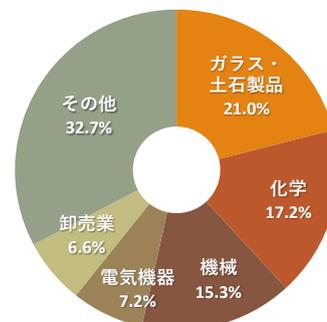
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
日本電気硝子		日本	ガラス・土石製品	ディスプレイ用ガラス等で世界大手
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
オルガノ		日本	機械	水処理装置大手
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
三菱倉庫		日本	倉庫・運輸関連	国内倉庫大手
現金等			現金等	5.0%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年3月末現在>

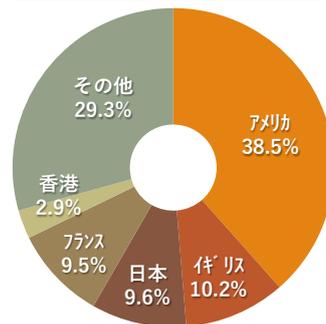
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



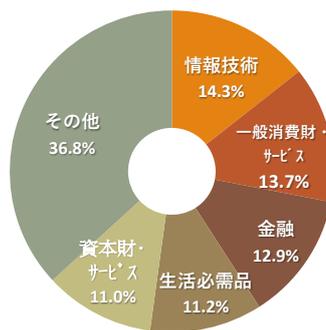
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Ocado	2.1%	イギリス	一般消費財・サービス	世界最大級のオンライン・スーパー
2 Airbus	2.0%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
3 Alphabet	1.9%	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの持ち株会社
4 Enel	1.8%	イタリア	公益	国内最大の電力会社
5 Pernod Ricard	1.7%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
6 AIA	1.6%	香港	金融	生保・金融サービス
7 Microsoft	1.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
8 Visa	1.4%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
9 Seattle Genetics	1.3%	アメリカ	ヘルスケア	癌治療薬等の研究開発
10 ASML	1.3%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
上位10銘柄	16.7%	現金等	3.9%	

業種別構成比



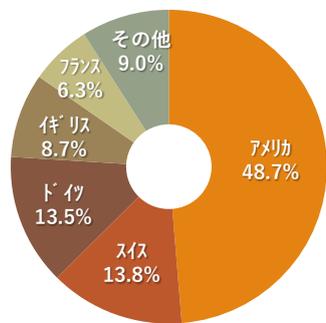
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年3月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



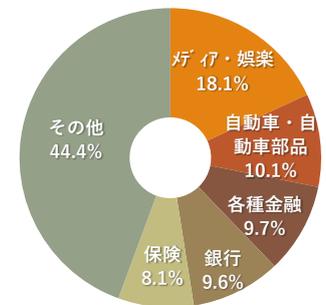
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	5.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 DAIMLER	4.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
3 CREDIT SUISSE	4.3%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
4 CNH INDUSTRIAL	4.2%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
5 ALPHABET	4.0%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持ち株会社
6 GLENCORE	3.5%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
7 CHARTER COMMUNICATIONS	3.4%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
8 BAYER	3.4%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
9 AIG	3.2%	アメリカ	保険	総合保険大手
10 JULIUS BAER	3.2%	スイス	各種金融	プライベートバンク
上位10銘柄	39.1%	現金等	2.1%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年3月末現在>

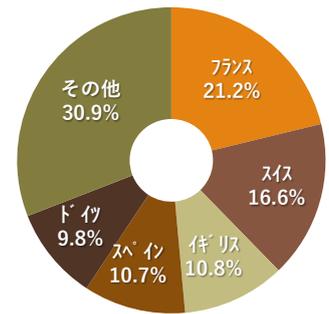
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



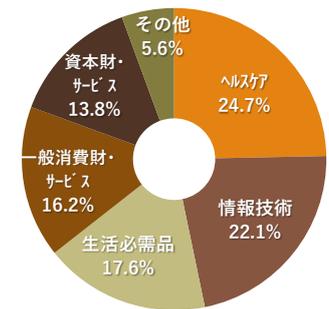
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 AMADEUS	5.8%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
2 ESSILORLUXOTTICA	4.6%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
3 STRAUMANN HD	4.2%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
4 HEINEKEN	4.2%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
5 INDITEX	4.1%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
6 SAP	3.9%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
7 SIKA	3.8%	スイス	素材	コンクリートなど建設・工業用化成品
8 ASML	3.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
9 COLOPLAST-B	3.7%	デンマーク	ヘルスケア	人工肛門世界大手
10 DASSAULT SYSTEMES	3.5%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
上位10銘柄	41.4%	現金等	6.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



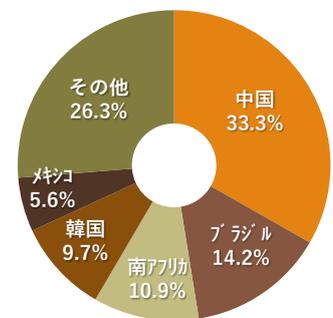
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年4月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



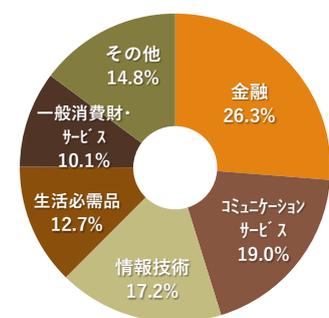
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 PING AN INSURANCE	6.6%	中国	金融	保険大手
2 TSMC ADR	4.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
3 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.7%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
4 INNER MONGOLIA YILI	3.6%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
5 NETEASE ADR	3.5%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
6 SAMSUNG ELECTRONICS	3.4%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
7 NASPERS	3.4%	南アフリカ	一般消費財・サービス	ゲイア。中国TENCENTの大株主
8 AIA	3.4%	香港	金融	生保・金融サービス
9 HENGAN INT'L	3.3%	中国	生活必需品	トイレット製品国内大手
10 BAIDU ADR	3.3%	中国	コミュニケーションサービス	検索エンジン世界大手
上位10銘柄	38.3%	現金等	2.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年4月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

定期定額購入の引落しができなかった場合について

引落先金融機関の口座が「残高不足」等で引落しができなかった場合、当月の定期定額購入は行われません。また、翌月以降の引落しは通常通りのご指定金額で引落しが行われます（引落しできなかった分を翌月まとめて引き落とすことはできません。）。

当月引落しできなかった分の購入を希望される場合は、スポット購入による方法でご購入ください。定期定額購入と同じタイミングでの購入を希望される場合は、当月の引落日より 6 営業日後の日にスポット購入代金を弊社の「ファンド購入用振込先口座」へお振込みください。引落日等、各月の詳しい情報は弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

※ スポット購入の際の振込手数料はお客様のご負担となります。

スポット購入のお申込み受付時間について

スポット購入とは、弊社がお客様ごとに設けた「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。

購入金額は「1 万円以上 1 円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。販売手数料はかかりません。

< 当日のスポット購入のお申込みは、15 時までに弊社でご入金を確認できたものに限り。 >

現在、銀行などでは、口座振込の時間を延長する傾向にあります。弊社の「ファンド購入用振込先口座」を設けております「りそな銀行」でも、振込みが 24 時間即日入金可能となっておりますが、弊社のスポット購入につきましては、当日 15 時までに弊社でご入金の確認ができたものが当日のお申込み受付分となります。 15 時以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

- ※ 15 時直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。
- ※ お振込みの際は、「振込依頼人」名を必ずお客様ご自身のお名前をお願いいたします。
- ※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設時に弊社より簡易書留郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」に記載しております。
(お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。)

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。
[*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。
① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます。)
② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます。)
※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。